

Ⅲ 大阪の教育が大切にする「3つの理念」

公立学校教育に求められているのは、家庭状況など子どもたちが置かれている状況や子どもたちの個性にかかわらず、すべての子どもたちの「学び」と「はぐくみ」を保障し、それぞれの力を伸ばすことです。

今後、大阪の教育の特性である「地域性」と「多様性」に加え、すべての子どもたちに前向きに生きる姿勢をはぐくむことを重視し、次の3つの理念に基づき「大阪の教育力」を高めていきます。

☆地域に根ざす

子どもは学校だけでなく、家庭や地域の中でも日々成長します。家族や同級生だけでなく、それ以外の大人や子どもと幅広く交流し、関わりを持つことを通じて様々な能力を身に付ける必要があります。また、学校が地域とのつながりを深めることによって相互の信頼が強化され、学校教育は充実します。

学校・家庭・地域が一体となり、家庭との役割分担や地域との協力のもとで、子どもをはぐくむ取組みをさらに進めていきます。

☆違いを認め合うとともに、子ども一人ひとりの力を伸ばす

障がいのある子どもをはじめ、一人ひとりの個性に応じてその力を最大限に伸ばすとともに、他の人を大切にする気持ちや社会性を培うことが重要です。あわせて、互いの存在や考えを認め合い、関わり合いながら、ともに生きていく態度をはぐくんでいかなければなりません。

基礎的・基本的な知識・技能を大切にしつつ多様な学びを可能にする教育内容や指導体制を確立するとともに、子どもたちが互いの個性を認め合う学びの場づくりを進めていきます。

☆前向きに生きる姿勢をはぐくむ

社会経済情勢が変化し、将来に対する不透明感が増す中であっても、子どもが前向きに自らの進路を切り拓き、社会の形成者として社会に貢献する力を備えた大人へと成長することが大切です。

知・徳・体のバランスある力にあわせて、子ども達に忍耐力や社会の中の一員として生きていくための規律・規範を身に付けさせ、未来に向けた子どもたちの志や夢を確かにはぐくむ教育を推進していきます。